

幼保連携型認定こども園 大和 こども園

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質
向上に努めて参ります。

*対象者 59名

A:たいへんよい

B:よい

C:一部検討を要する

D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・理念や基本方針は、職員や利用者に周知されるよう、園内に掲示したり、パンフレット等にのせたりして、目に触れるようにしてきましたが、さらに園内研修等でどう教育保育に生かされていくのかを確認し合い、利用者にはわかりやすく説明していくことを課題とします。</p> <p>・子ども一人一人の人格を尊重した教育保育については、引き続きチェックリストや園内研修を通して、全職員での共通理解を図り、常に意識していきます。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子ども的人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・教育・保育課程や指導計画は、子どもの実態をとらえ、地域とのかかわりを考慮しながら、一人一人が充実した生活を送れるように見直し、作成しています。入園時から修了までに育てたいことや個々の発達過程を見通し、きめ細やかな対応を図っていきます。</p> <p>・行事については、毎回実施後、子どもの育ちに必要なのか内容や取り組み方について検討していますが、さらに、子どもの生活が豊かになることを意識し、行事に至るまでの過程も大切にしながら進めていきます。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・職員間で共通理解をし、子ども一人一人の心身の健やかな育ちを支える教育保育を目指していきます。全職員の共通理解については、今年度はチームリーダーを配置することで伝達等の徹底を図ってきました。しかし、この園評価を通してまだ十分でないことを実感し今後さらに共通理解できるようにしていきたいと思っております。</p> <p>・食を営む力の育成に向け、栽培活動、クッキング、体と食べ物の関係などの栄養指導も行っていきます。さらに給食担当職員とクラス担当との連携を密にし、子どもの食事の環境や保護者への食育指導に力を入れていきます。</p> <p>・月一回外部講師の指導の下、主体的な遊びについての研修を重ね、職員は子ども理解に努め、子どもとの対話を大切に教育保育を行っています。遊びの中に学びがあることを十分に踏まえ、子どもの興味・関心、「やりたい」という気持ちを尊重し受けとめていきます。そして、子どもが自ら積極的に環境(人・物)に関わっていくことができるような教育保育を展開することを重点に取りあげていきます。</p> <p>・大人を信頼するという確かな気持ちがある子どもの発達を支えているということを踏まえ、受け入れられ見守られているという安心感が持てるような優しく温かい関わりを大切にしています。一人一人をよく見て、その子に合った関わりをして信頼関係を築いていきます。</p> <p>・特別な配慮を必要とする園児に対しては、関係機関と連携して、一人一人の特性に応じて関わっています。個々の園児に対する配慮や援助方法などの共通理解を図っていくことが今後の課題です。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			

